

2010年8月2日

各位

会社名 株式会社 WDI

代表者名 代表取締役 清水 謙

(コード番号: 3068)

問合せ先 取締役 管理本部本部長 佐々木 智晴

( TEL. 03-3404-3704)

# 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2011年3月期(2010年4月1日~2011年3月31日)について、特別損失の発生及び最新の業績動向等を踏まえて、2010年5月14日に公表いたしました2010年3月期第2四半期累計期間(2010年4月1日~2010年9月30日)の業績予想につきまして下記のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 【I】特別損失の計上について

本日開示いたしました「米国孫会社の異動(譲渡)に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、当社の連結子会社である WDI International,Inc.が保有する W STEAK BEVERLY HILLS,L.L.C.の全株式について持分の譲渡を行い、それに伴って「事業整理損失引当金繰入額」 293 百万円を特別損失として計上することを見込んでおります。

# 【Ⅱ】2011年3月期 第2四半期累計期間業績予想の修正

1. 第2四半期累計期間 連結業績予想の修正(2010年4月1日~2010年9月30日)

(単位:百万円・%)

		(1 12 17 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7				
	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益	
前回予想(A)	8,411	244	170	26	円 銭 4.16	
今回修正(B)	8,432	280	162	△234	△36.98	
増減額(B-A)	21	36	△7	△260	_	
増減率(%)	0.3	15.1	△4.2	_	_	
(ご参考)前期実績						
(2010年3月期	8,967	261	32	16	2.67	
第2四半期累計期間)						

ご注意:本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。 実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 第2四半期累計期間 個別業績予想の修正(2010年4月1日~2010年9月30日)

(単位:百万·%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	238	57	40	20	円 銭 3.18
今回修正(B)	239	57	51	28	4.47
増減額(B-A)	1	0	11	8	_
増減率(%)	0.5	0.4	28.4	40.4	_

### 3. 修正の理由

#### (1) 連結業績予想の修正について

当社グループは、アジア地域を中心とした海外経済が改善傾向にあることを受けて、一部では回復の兆しが見られるものの、雇用や所得への不安感を背景とした個人消費の低迷が継続する依然として厳しい経済環境の下、前期において実施した社内体制の抜本的改革により向上した収益力を当期も継続して維持することで、業績は当初予想の内容にほぼ沿ったかたちで推移しております。

一方、「【I】特別損失の計上について」にて記載のとおり、特別損失の計上を見込んでおります。

当社グループは、店舗閉鎖等に伴う特別損失の発生を恒常的な事項として業績予想に織り込んでおりますが、発生時期については、店舗業績を見極めるために第3四半期以降で見込んでおります。そのため、今般の米国孫会社の株式持分譲渡に伴う特別損失の計上は、第2四半期累計期間における実績と業績予想の乖離要因となります。

上記の要因に加え、最新の業績動向を加味して第 2 四半期累計期間における売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の予想を修正いたします。

#### (2) 個別業績予想の修正について

業績は当初予想の内容にほぼ沿ったかたちで推移しておりますが、保有している出資金の評価 損が当初の予想を下回ったことに加え、最新の業績動向を加味して売上高、営業利益、経常利益 及び当期純利益を修正いたします。

# 【Ⅲ】2011年3月期 通期業績予想への影響について

「(1) 連結業績予想の修正について」に記載したとおり第2四半期累計期間における業績予想の修正は、特別損失の計上時期に乖離が発生したことが原因であります。

また、損失発生の規模については、当初の予想に比べ大きな乖離はなく、第2四半期以降の国内及び海外における業績が現在想定している水準で推移すれば十分に補填しうる程度の乖離であると考えており、通期の業績予想に大きな影響を及ぼさないため業績予想の修正は行いません。

以上